

サステナブルファイナンスと熱帯地域の林業

ESG基準による企業評価

BNPパリバ・アセットマネジメント

BNPパリバ・アセットマネジメントは、世界有数の金融機関であるBNPパリバ・グループの資産運用部門であり、個人投資家や事業法人、機関投資家に付加価値の高いソリューションを提供しています。運用部門は、株式、債券、プライベート・デット・アンド・リアル・アセット、マルチアセット・クオンツ・アンド・ソリューション（MAQS）の4部門から構成されています。BNPパリバ・アセットマネジメントの運用資産総額は5,980億ユーロ（助言を含む、2020年9月30日現在）、500名の運用プロフェッショナルのほか顧客サービス担当も約500名おり、71か国でサービスを提供しています。

ESG統合は幅広いグローバル・サステナビリティ戦略の一環

環境、社会、ガバナンスに関する課題は、BNPパリバ・アセットマネジメントの投資先企業の価値や信用を左右するものです。ESGに関する基準を投資プロセスに取り入れ受託者責任を果たすことにより、お客様の投資目的を達成し、利益を守ることが可能になります。

2019年3月にBNPパリバ・アセットマネジメントは、全ての投資戦略においてサステナブル投資アプローチを採用することを表明したグローバル・サステナビリティ戦略を発表しました。

この戦略が統合するサステナブル投資の柱は次の通りです

- 環境、社会、ガバナンス（ESG）要因の包括的な調査と統合
- 投資家としての**スチュワードシップ**（個別エンゲージメント、集団エンゲージメントなど）
- 責任あるビジネス行動と商品ベースでの投資対象**除外**
- サステナブルな未来を推進する3つのテーマへのフォーカス

これらのアプローチの狙いは、投資や投資アイデアの開発、最適なポートフォリオ構築、リスク管理、企業や市場への影響力行使におけるBNPパリバ・アセットマネジメントの手法を強化することです。

詳細は、BNPパリバ・アセットマネジメントのグローバル・サステナビリティ戦略をご覧ください。
（当ケーススタディ末尾の「参考資料」に掲載）



ESGデータ統合のアプローチ

BNPパリバ・アセットマネジメントの独立した調査は、幅広い情報源に基づいており、主要な民間のESGデータ提供者にとどまりません。メディアの報道やNGOのレポート、さらには各業界固有のデータセットも精査の対象となります。

こうしたアプローチの実践にあたっては、できる限り定期的に情報の発信元に直接確認しています。



木材パルプセクター特有のアプローチ

BNPパリバ・アセットマネジメントは、木材パルプ製造を要注意セクターに含めており、とりわけ林業関連分野に注目しています。

BNPパリバ・アセットマネジメントのグローバルな取り組みは**国連グローバル・コンパクト**と**OECD多国籍企業行動指針**に則っており、木材パルプに関するセクター方針では、林業および木材パルプ製造に特有のマイナスのインパクトとなるエクスポートを軽減することを目指しています。

「環境」のレンズだけでは見えない課題

木材パルプ業界は、業務上およびサプライチェーン関連の問題を保有しています。

- 重機を用いて大きく外観を変える作業が中心であることから、事故の発生しやすい業界であること
- 新規開発プロジェクトは主に新興国で行われており、規制の枠組みが相対的に弱いため、人権侵害のリスクが高いこと
- 木材の供給について規制が厳格な業界であること(加工・流通過程の管理や伐採の合法性を巡る懸念)

制裁金が発生するおそれやキャッシュフローの問題、操業上のリスク、レピュテーションの毀損を最低限に抑えるために不可欠なのは、企業が強いコミットメントを持って倫理的な運営を行い、確固たる方針を実践することです。

この方針において、セクターへの投資が従うべき基準を定めており、サステナビリティに関する5つの主要な問題を挙げています。

- 森林破壊やパルプ工場に原料木材を供給するための産業植林プランテーションに関連した**環境および生物多様性の問題**
- パルプ工場開発あるいは産業植林プランテーション・プロジェクトと結びついた**社会的問題**（地域住民の権利の尊重、地域コミュニティとの連携、雇用創出など）
- パルプ化過程における**水資源および排水の管理**、とりわけ漂白に伴うダイオキシンの排出
- 植林プランテーションおよびパルプ工場における**労働環境の安全性・衛生**
- パルプ工場における**環境管理**（大気汚染、エネルギー消費、廃棄物管理など）

開示情報の活用:研究結果とその応用

下図1、2は、ESGアナリストによる定性的評価の一例で、ある企業の水の管理体制について7つの基準から分析した結果です。

		A社
水	目標設定と取り組み状況	良
	リスク管理（水不足、氾濫、サプライヤー・エンゲージメント）	良
	透明性（水源、利用、排出）	良
	取水実績	普通
	水質指標（BOD、COD、TSS、N、P）の実績	良
	節水につながるビジネス機会	普通
	WASH（Water, Sanitation and Hygiene）へのアクセス/地域参加/SDG6への取り組み	良
加点/減点 水関連 2017		20%
係争	係争 加点/減点 係争 2017	0%
加点/減点 2017		20%

図1：BNPパリバ・アセットマネジメントのケーススタディにおけるサンプル企業のスコアリング

[A社]の積極的な水の管理と情報開示は極めて高く評価できる。2030年に向けて設定した水に関する3つの野心的な目標は、2008年度のパルプ・紙生産のグループでの実績をベースにしている。（中略）水質モニタリング・システムも強固で、物理的・生物学的廃水処理の両方をすべての拠点において必須としている。（中略）また、自治体とも協力しながら地域の水系へのインパクトを評価している。（中略）リスク管理の観点では、同社の運営は100%水資源の豊富な場所で行っていると公表している。（公表資料によれば、生産拠点の決定は水ストレス指数マップに基づいて行っており、これは明らかに最良のビジネス慣行といえる）。（中略）評価を行った企業の中では唯一、水集約度の分析を開示している。（後略）

図2：BNPパリバ・アセットマネジメントのケーススタディにおけるサンプル分析でのコメント。

ケーススタディの全文はこちら：<https://naturalcapitalcoalition.org/finance-sector-supplement-to-the-natural-capital-protocol-case-study-for-bnp-paribas-asset-management/>

次なるステップ：ESGスコアが投資上の意思決定に与える影響

BNPパリバ・アセットマネジメントのESGスコア（絶対ESGスコア）と10分位（相対ESGランキング、セクター中立）は全てのポートフォリオ・マネージャーに共有され、以下の方針が適用されます。

SRIベストインクラスに該当するファンドの場合、ポートフォリオ・マネージャーはESGの10分位において下位3つには投資できません。

SRIファンド以外の場合、ポートフォリオ・マネージャーはESG分析をさまざまな投資プロセスに組み込む「ESG統合」アプローチに沿って投資を行います。その狙いは、あらゆるファンドのESG特性（例：ESGスコア向上やカーボン・フットプリントの低減）を参照ベンチマークより上回らせることです。さらに、スコアリングの低い企業に投資を行う場合、運用チームはESG要因について追加の定性分析をあわせて行う必要があります。また、BNPパリバ・アセットマネジメントはスチュワードシップも特に重視しており、ESG評価を活用して積極的に投資先企業とエンゲージメントを行い、より持続可能な事業慣行を促していきます。

参考資料

- BNPパリバ・アセットマネジメントのグローバル・サステナビリティ戦略：
<https://docfinder.bnpparibas-am.com/api/files/2818EAAE-D3CF-4482-A3BA-A2EA898AFD0D>
- BNPパリバの木材パルプポリシー：
https://group.bnpparibas/uploads/file/csr_sector_policy_wood_pulp.pdf
- BNPパリバ・アセットマネジメントのESG評価の枠組み：
<https://www.bnpparibas-am.com/en/esp-scoring-framework/>

ZSLはロバート・アレクサンドル・ブジャーダに対し、このケーススタディの準備に携わったことに謝意を表します

ZSL（Zoological Society of London）の開発したSPOTTは無料のオンラインプラットフォームで、持続可能な商品生産と取引をサポートするものです。透明性の追求により、SPOTTは企業が最良の慣行を取り入れられるよう促します。SPOTTが評価する対象は、商品生産業者、加工業者、トレーダーの情報公開の状況で、各業者の組織、方針、実際の経営手法について環境、社会、ガバナンス(ESG)の観点から精査します。投資家、バイヤーその他特に影響力の大きい人はSPOTT評価の活用により、ステークホルダーエンゲージメントに情報を提供し、ESGリスクを管理し、複数の業種にわたる透明性を高められます。

SPOTTの活動は英国政府による資金援助を受けていますが、ここに記した見解は必ずしも英国政府の公式な方針を反映していません。

